

パートナーシップで築く農業経営研修会を開催しました。

8月20日(木) 黒磯公民館(いきいきふれあいセンター)にて、家族経営協定への関心を高めるための研修会を、那須地方農村女性会議と共催により開催しました。

当日は、那須地域の農業経営者 105 名が参加し、若手農業者の増淵氏と高橋氏からは、農業後継者の立場から家族経営協定を結んだきっかけやポイント、今後の目標についての講演をいただきました。

また、家族の認知症など身近な問題と協定の大切さについて、栃木県女性農業士会による寸劇「あれから15年」、女性農業士の吉成氏から、「家族の介護と家族経営協定について」の講演をいただきました。

参加者からは、家族経営協定を結んだきっかけやメリットについて、活発な質疑応答がなされ、農業を営むうえで何よりも「家族全員による話し合い」が重要であり、家族経営協定が効果的な足がかりとなることが理解できる研修会となりました。



規模拡大や6次産業化につながったと増淵氏



寸劇「あれから15年」の一場面



仕事や家事の分担できるようになったと高橋氏



介護には家族の話し合い・協力が大切と吉成氏